

川崎市長 阿部孝夫殿

緊急「公開質問状」

2007年9月27日

「本気で臨海部の未来を考える会」

川崎南高を活かそう会

事務局 川崎ファクトリー代表 渡辺 治

〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通 4-14-18

Tel 044-344-6520 / Fax 044-344-3930

〔質問〕

旧県立川崎南高校の「再利用」に関わる問題について緊急にお尋ねいたします。

旧県立川崎南高校を壊す理由について、神奈川県は一貫して「川崎市のまちづくりに協力するため」と説明しています。そこで、お尋ねいたします。

1 「校舎を壊して更地にすることが、本市のまちづくり計画に協力することだ」と川崎市は神奈川県に要請したのでしょうか。

A そのように要請したことはない。

B そのように要請したものである。

2 県が「川崎市のまちづくり計画に協力するため」と言う、「川崎市のまちづくり計画」の具体的な案（跡地をどのように使うのか）について、県が校舎を解体して更地にする前に、地域・住民に「説明会」を開いて明らかにしていただけますか。

A 「更地」にする前に、「まちづくり計画案」についての「説明会」を開催する。

B 「更地」にする前には「まちづくり計画案」についての「説明会」は開かない。

以上の2点の質問について、A・Bいずれかに○印をつけてお答えください。

なお、2番目の質問のBの場合については、その基本的理由を簡潔にお示してください。

（2-Bの理由

〔質問の趣旨〕

貴重な県民の財産である旧県立川崎南高校の校舎の「再利用」については、多くの住民（県民）から「まだまだ使える校舎を壊さないで地域のために再利用して欲しい」という要望が、神奈川県知事あてに寄せられています。しかし、県は一昨日9月25日、校舎の解体業者を選定するために「入札」の公募を開始しました。住民の願いを真っ向から否定する暴挙と言わざるを得ません。

県は、校舎を壊す理由として、「川崎市のまちづくり計画に協力するため」と「防犯・防災のため」の二つを挙げています。7月9日に開かれた住民への「説明会」では「土壌汚染があるので壊す」という理由を挙げていましたが、8月31日には、県知事から「人体には影響はない」との正式な表明がありました。

防犯・防災の問題は、「再利用」を前提にすれば、現在ある県有の施設同様のいかような対策もきわめて低い費用で行えますから、「壊す理由」の最大の点は「川崎市のまちづくり計画に協力をする」ということです。そこで、上記のような緊急の質問を川崎市長である貴職にするものです。

ことは、急を要しますので、来る10月2日（火）までに、ご回答ください。なお、旧県立川崎南高校の近隣の住民の疑問に答えるためにも、「公開質問状」とさせていただきますことを申し添えます。

以上

*お願い——ご返事は、Fax でいただいた後、郵送していただければ幸いに存じます。